

## 7. 閉会挨拶

京都大学経営管理大学院院長 原良憲氏

皆さま大変お疲れ様でした。閉会にあたり、主催者を代表して一言ご挨拶させていただきます。

まず、本日は遠くシンガポールから Michelle Koh さん、また、ソウルから李政炯先生にお出でいただき、大変感謝申し上げます。また、大阪市から上溝うめきた整備担当部長、阪急阪神不動産 橋本英仁様、同社並びに梅田地区エリアマネジメント実践連絡会から高田梓様、さらに、大丸有から田口真司エコツェリア事務局次長にご登壇いただき、大変ありがとうございました。中央省庁からも、北村国土交通省都市局長をはじめ、内閣府地方創生推進事務局、及び国土交通省から政策立案の第一線に立っておられる幹部の皆さまにお出でいただいたことに感謝いたします。

我々京都大学経営管理大学院は、2006年に設立し、今年で14年目になります。当初は一学年60名のMBAでしたが、お陰様で今年からは一学年100名、そして博士課程7名と少しずつ成長しており、エリアマネジメントを始め、多くのリーダーシップやアントレプレナーシップの人材育成、最近ではサービス&ホスピタリティといった領域に注目しまして、コーネル大学との国際連携コースを含めグローバル化にかなり注力して活動を進めております。こういった中で、先端的なマネジメントと実践的で具体的な活動を織り交ぜて、文理融合のビジネススクールとして活動を進めています。

この趣旨を実現する一環として、2014年3月に光亜興産株式会社様より寄附を賜り、本大学院に「官民協働まちづくり実践講座」という寄附講座を設置して、今日に至っております。特に、川村光世社長には大変感謝申し上げます。このような寄附講座により、まちづくりに関わる教育・人材育成や研究活動に取り組んでおります。また、講座の名前の通り、官民協働のまちづくりを担うエリアマネジメントの実践を、吉田先生を中心に進めております。

本日は、シンガポールとソウルから専門家にお出でいただき、それぞれの取組みをご紹介いただきました。「アジアで考えるエリアマネジメント」というテーマで、とてもよかったですと思います。私もシンガポールのリバーワン、ソウルの清溪川、大丸有のエリアマネジメント、梅田とすべて見学させていただきました。去年は、ドイツから専門家にお越しいいただき、学ぶところがありましたが、アジアで考えるエリアマネジメントは、ある種の共通性が非常にあったと感じました。特に、文化、歴史、ライフスタイルといったコンテクストを共有した場の価値をベースに、イノベーションとホスピタリティのある活動をされていると感じた次第です。

こういった中で、これから、ここにおられる皆様方と力を合わせて、まちづくりの理論的な側面の研究と実践に貢献し、今後の人材育成に微力ながら貢献させていただきたいと思っております。本日は、誠にありがとうございました。